

## 出雲市 地元でトキ放鳥へ 30年までに態勢整備



15 4:00

出雲市が分散飼育しているトキ＝2019年12月、同市西新町2丁目、市トキ分散飼育センター

国の特別天然記念物・トキを飼育繁殖する出雲市が14日、地元での放鳥を目指す方針を明らかにした。国内での野外放鳥は新潟県佐渡市のみとなっている中、環境省が他にも認める方針を決めたため。出雲市は年内に実行計画を定め、野外放鳥できる態勢を2030年までに整える。

同日の市議会本会議で、今岡久人議員（平成クラブ）の一般質問に金築真志農林水産部長が考えを示した。実現により、自然環境の保全と観光振興を両立したまちづくりにつなげる。

環境省は佐渡市のみで放鳥を認めていたが、生息数を増やすため「トキ保護増殖事業計画」を見直し、26年度以降に同市以外の本州でも放鳥させる方針を決定。放鳥が可能な地域の適性などについて、調査や検討を進めるという。

動きを踏まえ、出雲市は環境省が近く発表する「トキ野生復帰ロードマップ2025」に沿って、市トキによるまちづくり構想を改定する予定。

構想を基に放鳥に向けた環境整備、住民の意識醸成など、具体的な取り組みや目標値を定めた実行計画を策定する。

放鳥の可否条件については今後、環境省が詰めるという。

出雲市は2008年12月、環境省から佐渡の分散飼育地に選ばれ、現在、市トキ分散飼育センター（出雲市西新町2丁目）で13羽を飼育。12年から今年までに繁殖した43羽が佐渡で放鳥されている。

国内の分散飼育地は同市のほか、新潟県長岡市、いしかわ動物園（石川県能美市）、多摩動物公園（東京都日野市）となっている。（月森かな子）